



窪町だより

窪町小学校令和6年度2月号

窪町小学校ホームページ URL: <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/kubomachi-ps/>

入念な準備

副校長 金子 淳平

日米通算安打数4367本。この数字を聞いて、だれもが思い浮かべるはイチロー選手でしょう。日本のプロ野球で通算1278安打、大リーグでは19年間プレイし、10年連続、通算11回の200本安打の達成、積み上げた安打数は3089本。2004年、84年ぶりに更新した年間286安打は、おそらく破られない記録として大リーグ史上に燦然と輝いています。そんなイチロー選手が、日本のプロ野球と大リーグの両方で殿堂入りを果たしました。大リーグでは、史上2人目の満票での殿堂入りも期待されていましたが、結果は394票のうち393票を獲得し、得票率は99.7%でした。満票までわずか1票でしたが、「1票足りないというのはすごくよかったと思います。生きていく上で不完全だから進もうとできる」とコメントしたイチロー選手のことを私はカッコいいなと思いました。

さて、野球選手として偉大な記録を残しているイチロー選手が大切にしていたことは「準備」です。「イチロー流 準備の極意」(青春出版社 2016)で、イチロー選手は次のことを語っています。「ハイレベルのスピードでプレイするために、ぼくは絶えず体と心の準備はしています。自分にとって大切なことは、試合前に完璧な準備をすることです。」これだけ準備をしたのだから、どんな結果も受け入れるといった思いが込められていると感じます。よく「結果は準備が8割」と聞きますが、完璧な準備をすることで準備が自信につながり、自信が結果につながるのだと思います。

本校は、令和5・6年度文京区教育研究協力校として、「窪町×体育による運動・健康に対する意識改革」を研究主題として研究に取り組んできました。児童数に対して子どもたちが遊べる場所が少ない環境の中で、どうやって子どもたちの体力を向上していくのかを、「体育科の運動領域での授業改善」「保健領域や体育以外の教科でも運動や健康の側面に触れること」「子どもたちが運動に親しめるように校内の環境を整えること」の3本の柱を立て、先生たちが複数のチームに分かれて検討してきました。東京学芸大学副学長鈴木聡先生をはじめ、文京区教育委員会の方々からの助言を受け、試行錯誤しながら子どもたちの体力の向上、運動・健康に対する意識改革を実現するために教育活動に取り組む先生方一人一人の姿はまるでイチロー選手のようでした。

これまでの研究の成果を、1月28日に実施した研究発表会で発表しました。当日は、区内外から200名以上の方が参観されました。公開した4クラスの授業すべてで、子どもたちが目を輝かせ、主体的に学習に取り組む姿が見られました。参観された保護者の方も先生方が長い時間をかけて入念に準備をし、自信をもって行った授業の素晴らしさを感じ取っていただけたのではないのでしょうか。

私たち教員は授業で勝負をしています。日々子どもたちの前にたち、授業をしている窪町小の先生たちも放課後の職員室や教室で、授業で輝く子どもたちの姿を思い浮かべながら教材研究を行っています。結果は、翌日の授業での子どもたちの表情や学習に取り組む様子ですぐに分かるので、一喜一憂しながら翌日の授業の準備をします。毎回の授業が、研究発表で行った授業のように入念な準備ができるわけではありません。しかし、イチロー選手のように毎回の授業の準備を完璧にして、子どもたちの前に立てることができるよう努力を重ねている窪町小学校の先生たちのことを私は誇りに思っています。

道徳地区公開講座について

本校では、2月22日(土)に、「文京区教育ビジョン・道徳授業地区公開講座」を行います。本講座は、教職員や保護者、地域の方々が、道徳授業の参観と意見交換会を通し、子どもの心の教育について理解を深めることをねらいとして実施するものです。

当日は、各学級にて道徳の授業を行います。登場人物の気持ちを想像したり、友達と話し合ったりして道徳的価値について考えられたらと思っております。ぜひご参加いただき、お子様とご家庭で当日の授業について話し合う機会としていただきたいと思います。

また、ご意見・ご感想もお寄せいただくと今後の教育活動に生かしますので、よろしくお願いいたします。

4年 総合的な学習の時間について

4年生の総合的な学習の時間では、1学期に「共に生きる」、2学期に「防災について考えよう」というテーマで学習を進めてきました。1学期には、ブラインドサッカーの選手とブラインドサッカーを体験したり、2学期には、防災宿泊体験学習として、様々な体験をしたりしました。3学期には「日本文化に親しもう」というテーマで学習をする予定です。体験活動もいくつか予定しています。

総合的な学習の時間では、興味をもった内容を児童が自ら調べて、まとめています。今年度は、タブレットパソコン端末を活用し、プレゼンテーションソフトにまとめる活動を行いました。また、体験的な学習も大切にしています。児童が主体的な学習者として、自ら学べるよう今後も意識を高めていきます。

家庭科

5・6年生が学習している家庭科では、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することを目指しています。

授業では子どもたちに、「学習で得た学びを自身の生活に結びつけていこうね」と伝えています。

家庭科の授業に対して、とても意欲的な窪町小学校の子どもたち。なかでも、調理実習が好きな児童が多い印象です。5年生は、1学期に「青菜のおひたし」2学期に「ごはん」「みそ汁」を作りました。初めのうちは、火をつけることを怖がっていた児童が多かったですが、回数を重ねていくうちに自信をもってできるようになりました。6年生は、1学期に「いためもの」2学期には「野菜のベーコン巻き」を作りました。試食では「おいしい！」という声が上がリ、実習後には「学んだことを生かして、家でも作ってみました」と報告にくる児童もいました。

保護者のみなさまにおかれましては、家庭での調理学習にご協力いただきありがとうございます。また、ミシンの授業を支えてくださった地域ボランティアのみなさまにも深く感謝いたします。5年生以下のお子さんのいるご家庭でも、将来の学習を見据えて、お手伝いなどで家庭内の仕事を体験させていただければ幸いです。

